

名二環（名古屋西JCT～飛島JCT）開通による 通行止めや大規模規制時の代替ルートの確保

2021年2月26日
中日本高速道路株式会社
定例記者会見 資料2-2

伊勢湾岸道通行止め時の東西交通の確保

- 伊勢湾岸道は東西交通の要を担う重交通路線ですが、交通事故のほか、強風による通行止めリスクがあります。
- 伊勢湾岸道での通行止め発生時、今回開通区間が新たな迂回ルートとして機能し、東西交通が確保されます。

伊勢湾岸道の通行止め実績

年間約 **15回**

※3カ年（2017年～2019年）実績の平均



伊勢湾岸道 事故による通行止め時の状況



東名阪道での大規模規制時の迂回路

- 東名阪道は開通から40年以上が経過しており、毎年実施している集中工事に加え、2021年度からはリニューアル工事を予定しています。
- 今回の開通により、東名阪道での工事期間中は名二環・伊勢湾岸道ルートへ迂回することが可能となり、工事中の渋滞が緩和されます。

例：床版取替工事



名古屋環状2号線のあゆみ

名古屋環状2号線は、1971年に国道302号が事業化し、2021年5月1日の名古屋西JCT～飛島JCTの開通により、全線が開通します。

名古屋環状2号線

名二環・伊勢湾岸自動車道（専用部）

国道302号（一般部）

年代	名二環・伊勢湾岸自動車道（専用部）	国道302号（一般部）
1960年代	1968年 都市計画決定	1968年 都市計画決定
1970年代	1979年 海上部 都市計画決定 名港西大橋事業許可	1971年 事業化
1980年代	1982年 陸上部 都市計画決定 1985年 名港西大橋（3.2km）開通 1988年 名古屋西JCT～清洲東IC（8.5km）開通	1980年 北部（8.6km）開通 1982年 陸上部都市計画変更 1985年 南部Ⅱ（2.7km）開通
1990年代	1991年 清洲東IC～勝川IC（8.7km）開通 1993年 名古屋IC～勝川IC（11.0km）開通 1998年 【伊勢湾岸自動車道】 名古屋南IC～飛島IC（11.2km）開通	1992年 西南部（9.3km）開通 1993年 東部（4.0km）、東北部（3.4km）開通 1994～1996年 東北部（3.4km）開通 1998年 南部Ⅰ（4.3km）開通
2000年代	2003年 上社JCT～高針JCT（2.7km）開通	2000年 西北部（9.3km）開通
2010年代	2011年 高針JCT～名古屋南JCT（12.7km）開通	2011年 東南部（11.4km）開通 東北部（0.5km）開通 ※国道302号全線開通
2020年代	2021年5月1日 名古屋西JCT～飛島JCT （12.2km）開通予定	

50年（半世紀）

名古屋環状2号線の開通区間

